障害者計画策定に関する調査項目素案に対する意見及び対応方針について

	調査票	項目	提出意見	対応方針	内容
1	全体		成人用：問16、問18 児童保護者用：問10、問11、問14、問15、問17、問20、問22、問23、問29、問30 「わからない」と「特にない」は分けた方がよいと感じました。	修正	いずれも選択肢を分けました。 また、成人用の問8、問11、問13、問19、問25も同様の対応としました。
2	成人用	問2	性別が「男性」「女性」「その他」となっているが、「その他」以外の、例えば「無回答」等の表記が相応しいのではないか	素案どおり	「その他」の選択肢は、無回答の方（性別を公開しない、性別を選択しない）を含む想定としております。 また、全調査項目において回答は必須としていないことから、無回答の意思表示については把握できるものと見込んでおります。
3	成人用	問7	通所バスによる通所も含むのでしょうか？	素案どおり	通所バスによる通所も含まれます。
4	成人用	問11	「意識啓発」などはわかりにくい用語ではないかと感じました。例年通りの質問であればこのままで可です。	修正	選択肢1を「就職に向けた意識を高めること」に修正しました。 また、児童用15ページ問29も同様の対応としました。
5	成人用	問13	ICT機器ツール：例 聴覚支援→補聴器 視覚支援→音声読み上げソフト等 ICT機器ツールについて注釈を記載する	修正	設問欄外に、ICT機器・ツールの用語説明文及び例示を追加しました。
6	成人用	問15	選択肢に「相談支援専門員」を加えてほしい	修正	選択肢に「相談支援専門員」を追加しました。
7	成人用	問15	選択肢にパートナーの記載	素案どおり	パートナー（事実婚等）については回答者本人の考えに基づき、選択肢1「家族・親族」又は選択肢14「その他（具体的に：）」において把握できるものと見込んでおります。
8	成人用	問16	旅行支援 サービスはあるが、利用に至るまでが複雑。もっと簡単に使えるようなサービス	素案どおり	旅行支援についてはサービスの認知度及びニーズの状況を踏まえ、選択肢22「その他（具体的に：）」において把握できるものと見込んでおります。
9	成人用	問17	・選択肢に「相談支援専門員の不足」を加えてほしい	修正	選択肢に「相談支援事業所や相談支援専門員の不足により相談ができない」を追加しました。 また、児童保護者用11ページ問21も同様の対応としました。

	調査票	項目	提出意見	対応方針	内容
10	成人用	問23-B	選択肢に「相談支援専門員」を加えてほしい	修正	選択肢に「相談支援専門員」を追加しました。 また、児童保護者用14ページ問27-Bも同様の対応としました。
11	成人用	問24	1. ひとりで暮らしたいに(支援等・サービスを使いながら)の記載	素案どおり	選択肢1は、支援やサービスの利用有無に関わらず「自立した生活」を希望しますか?という趣旨であるため、補記は不要と考えます。
12	保護者用	問20	障害児相談支援は入らないのでしょうか?	修正	選択肢に「障害児相談支援」を追加しました。 併せて、成人用調査票11ページ問16の選択肢にも「計画相談支援」を追加しました。
13	その他		メールでの回答の場合、アドレスが紐づけされていないことを書いた方がよいのではと思いました。	修正	インターネットによる回答の場合、回答者のメールアドレスを取得することはありません。 1ページ目【回答にあたってのお願い】において、上記の旨追記しました。
14	その他		手話動画でのアンケートの設置も必要 英語、韓国語、中国語での案内があるにもかかわらず、同じ日本国民であり、日本語とは異なる手話という別の言語を話す区民が一定数存在するにもかかわらず、手話によるアンケートが含まれていません。これは必ず含める必要があります。とりわけ、目黒区では本年4月に手話言語条例が施行されています。この条例の理念に従い、手話によるアンケートも提供してください。	修正	手話動画による調査の実施は予定しておりませんが、他の言語と同様に、各調査票の2ページ目【手話による調査回答を希望される場合】の情報を追加しました。 回答者からのご要望があった場合は区が手話通訳を手配し、個別に回答のサポートをさせていただきます。
15	その他		障害による特性を設問にわかりやすく表記してほしい アンケートは障害者を一括りにして設計されていますが、障害には各々特性があります。一括りにして回答選択肢を列挙しても、わかりにくい面があるかと思いますので、各設問に対する回答選択肢を「共通項」、「障害者別」の категорияに分けて表記した方が、回答者にわかりやすい内容になると思います。わかりにくいがために、「特にない」「わからない」を選択する障害者も多いと思います	素案どおり	障害特性は多様であるため、一括りの設定によって回答が困難と感じる方がいる点については、十分理解しております。 一方で、カテゴリーを設定することで選択肢が複雑化し、回答者の負担につながることも懸念されます。 加えて、異なる障害特性を持つ方々が共通する課題やニーズを把握することも調査目的の一つであることから、設問の設定については現行どおりとさせていただきます。
16	その他		回答項目が多すぎる上、難しすぎるのではないか	素案どおり	障害者計画策定に係る調査という目的から、様々な視点で幅広くニーズや課題等を把握したいため、一定数以上の調査項目が必要です。 一方で、回答者の負担も考慮し、これまでの調査項目を精査し、前回実施時と比較して、成人用・児童保護者用いずれも10問程度の減となっております。